



*Now is the time!*



## 2018年 調剤報酬改定による大手調剤薬局の影響

2018年調剤報酬改定では、大手叩きの印象が強い内容になりました。  
それらを受けて、大手調剤薬局が今期の収益予想を出しています。

### 大手調剤薬局の2019年3月期収益大幅減！

調剤薬局主力企業4社の売上高は増収予想ですが、営業利益は大幅に減益予想です。

#### 調剤主力企業4社の業績推移

会社名	2018年3月期売上高	2019年3月期売上高予想	伸び率	2018年3月期営業利益	2019年3月期営業利益予想	伸び率
日本調剤	2,412億7,400万円	2,538億9,300万円	5.2%	105億8,700万円	63億1,800万円	▲40.3%
クオール	1,455億1,600万円	1,520億円	4.5%	99億1,000万円	80億円	▲12.0%
総合メディカル	1,354億3,100万円	1,449億2,800万円	7.0%	71億8,900万円	57億6,200万円	▲19.8%
メディス	939億7,700万円	955億円	1.6%	31億6,300万円	17億円	▲46.3%

**大幅減！**

# 2018年調剤報酬改定後買い手目線が変わりました！

買い手が中堅～大手法人の場合、譲受後収益が下がる可能性があります。

## 【A薬局概要】

- 調剤基本料1（41点）
- 基準調剤加算（32点）取得中
- 月の受付回数：1,500回
- 集中度85%



## 【A薬局（大手企業が買い手となった場合）】

- 調剤基本料1（41点）⇒調剤基本料3（15点）
- 基準調剤加算（32点）⇒取得できなかった場合

・改定後、案件をより精査するようになっており、大手調剤薬局は金額を上乗せてしてまで買取する案件が減っています。

⇒買取基準が年々高くなっています！

・大手調剤薬局の買取基準が高くなる一方、地場企業の買取意欲が高まっています。

大手調剤薬局の目線が高くなり、中小の地場企業が買取の際、大手調剤薬局と同じテーブルに乗ることが減少したため買取意欲が旺盛になりました。

現時点で、将来的な売却をお考えでしたら、市況の変化により、様々な選択肢があることを踏まえてご準備をされることをお勧めします。

## 準備と言っても何をすればいいの？

まずは、薬局の価値を算定してみたいかがでしょうか。当社では、無料価値算定サービスを行っています。

### Point ▶ **調剤薬局M&Aに特化した当社にお任せ下さい。**

業界が急激に変化していたとしても、まずは冷静に過去を分析し、現在自社の置かれている状況を把握することが重要です。譲渡が検討できるのかどうか、検討できるとしたらどれぐらいの価額になるのかを知ることで、今後の経営判断がやりやすくなります。そのため的手段として、当社の「無料価値算定サービス」をご利用いただくことをオススメ致します。当社には、**累計160件以上、調剤薬局様のマッチングを成功させた実績もございます**ので、情報管理を徹底した上で、貴社のお手伝いをさせていただきます。



ご成約実績  
累計**160件**以上！

ご承継や薬剤師採用に関するお悩み、無料価値算定のご要望など、お気軽にご相談ください。

〒105-0013 東京都港区浜松町1-10-11 VORT浜松町Ⅱ 3階

[TEL] 03-6430-3902 [FAX] 03-3436-4040 [Webサイト] <http://www.cb-p.co.jp>